

# 1 教育目標

## (1) 本校の教育目標

**心身とも健やかで、たくましく生きる力をもつ子どもを育成する。**

○思いやりの心をもつ子    ○健康なからだをもつ子    ○進んで学ぶ子

## (2) 経営方針

【目指す子ども】

「（人・もの・ことに）主体的にかかわり、仲間とともに伸びようとする子」

【目指す教師（組織）の姿】

- ・子どもの変容を見逃さず、よさを見出せる「教師のまなざし」を磨き続ける。
- ・子どもの「**学びがつながる**」ように、1年間の成長や6学年の発達段階を見通した取組を行う。
- ・教職員・保護者・地域の方とコミュニケーションを深めることで課題や目標を明らかにし、**協働して「日常化」を図る。**

- ① 指導部の取組の充実
- ② 授業力、学級経営力の向上
- ③ 組織力の向上を目指したミドルリーダーの育成
- ④ 家庭・地域・幼保中との協働

## (3) 本年度の重点目標

### ① 児童の主体性を育てる、指導部の取組の充実

- ・三指導部（学習・生活・健康）が提案する行事や活動が、児童の主体性を育てる活動となるように計画・実践していく。
- ・児童の育ちを一つの指導部だけで捉えるのではなく、各指導部の行事や活動で育った力が、次の指導部の活動につながるように計画・実践していく。

### ② 主題に迫る授業力・学級経営力の向上

- ・主題に迫る授業づくりやその基盤となる温かな学級づくりにつながる校内研修会を計画的に開催し、授業観・指導観の向上を図る。（主題研究・現職研修・若手研修の推進）
- ・各指導部から提案された行事や活動のねらいを受け、学年・学級にそった手立てや支援を考えて指導にあたり、取り組みがつながるようにする。
- ・学級目標を作り上げていく過程を大切に、みんなで目標に向かってがんばり、事後に振り返り、次につなげられる学級づくりを進める。
- ・主体的に行動した子どもを認め合う場を設け、具体的に見えるようにする。
- ・全校で「朝の歌」「スピーチ活動」「異学年交流」「あいさつ運動」等に取り組み、児童が自分から進んで人とかかわることができる学級づくりを進める。

### ③ 組織力の向上を目指したミドルリーダーの育成

- ・学年主任や各分掌主任、それに続く教師が、目指す子どもの姿や1年間の成長、6学年の発達段階をとらえた経営を行うことで、児童の学びをつなげるとともに、ミドルリーダーとしての力を高めていく。
- ・学年あるいは全校での役割を学年経営案や教職員評価シートに明記し、自他ともに認識する。
- ・必要に応じて学年主任者会を行い、学年主任が学校づくりに参画する。

### ④ 目指す「高小っ子」を育てるため、家庭・地域・幼保中と協働

- ・家庭学習や夏休みチャレンジを通して、家庭での子どもの主体性を伸ばす。
- ・教科や総合的な学習の時間等では、計画的に保護者、PTA委員会、公民館、まち協に支援をお願いしたり、主体的に活動の場を求めて地域行事に参画したりする。
- ・幼保中と異校種間連携し、12年間の学びを継続させる。
- ・校舎建替え、及び、施設複合化に際し、学校が「学び舎」となるように学校関係者と連携を深める。